

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日(水),18(木)に第3学年を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、すでに全国や札幌市でのまとめが公表されていますが、本校の結果の分析と改善の方向についてまとめましたので、御報告いたします。

全国平均との差を以下のように表記しています。  
 「上回っている」 … +3.1以上  
 「やや上回っている」 … +3.0の範囲内  
 「ほぼ同程度」 … 全国平均と同じ  
 「やや下回っている」 … -3.0の範囲内  
 「下回っている」 … -3.1以下

## 1 学力調査の本校結果の概要と改善の方向について

### 【中学校国語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【領域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均を上回っている</li> <li>■ 「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均を上回っている</li> <li>■ 「我が国の言語文化に関する事項」 ・全国平均を上回っている</li> <li>■ 「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を上回っている</li> <li>■ 「書くこと」 ・全国平均を上回っている</li> <li>■ 「読むこと」 ・全国平均を上回っている</li> </ul> <p><b>【観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「知識・技能」 ・全国平均を上回っている</li> <li>■ 「思考・判断・表現」 ・全国平均を上回っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。</li> <li>● 文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。</li> <li>● 「読むこと」において、自分の考えの根拠を明確にして記述すること。(無解答率の割合が全道・全国と比べると高い値である。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えが確かな根拠に基づいたものであるか確認した上で、示す根拠を検討し、考えと根拠の関係を明確にして記述する活動の工夫をしていきます。</li> <li>・図表と文章との関連を確認するなどして、書き手の伝えたい内容を正確に読み取る活動の充実を図ります。</li> <li>・書いた文章を多様な相手と相互に推敲、評価していく中で、相手に伝わりやすい文章の論理展開を意識しながら、聞き手(読み手)の立場でも活用していき、話の要点を押しえられるような活動の工夫をしていきます。</li> </ul>

### 【中学校数学】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【領域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「数と式」 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている</li> <li>■ 「図形」 ・全国平均を上回っている</li> <li>■ 「関数」 ・全国平均を上回っている</li> <li>■ 「データの活用」 ・全国平均を上回っている</li> </ul> <p><b>【観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「知識・技能」 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている</li> <li>■ 「思考・判断・表現」 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「数と式領域」 連続する二つの偶数など、数を文字を用いた式で表すこと。 (知識・技能)</li> <li>● 「図形領域」 事象の角の大きさに着目して、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと。 (知識・技能)</li> <li>● 「関数領域」 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 (思考・判断・表現)</li> <li>● 「データの活用領域」 複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較すること。 (知識・技能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な知識を活用しながら、自分の考えを説明する機会や表現する機会を増やし、考えの伝え方を身に付ける取組をします。</li> <li>・問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする学習活動の工夫をしていきます。</li> <li>・PPDACサイクル(問題、計画、データ、分析、結論)を意識しながら、データの分布の傾向を判断する活動を取り入れます。</li> </ul>

## 2 学習状況調査「生徒質問紙」の本校の結果の概要について

学習状況調査では、基本的な生活習慣から、学校生活、学習状況など多岐にわたる内容で質問されています。本校の調査結果は全国の結果と概ね同じ傾向が見られましたが、顕著な違いのあるものを下記に御紹介いたします。(数字は全国の割合と本校の割合)

### 【全国平均より5ポイント以上上回った設問】

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか (全国 80.7% **本校 86.2%** +5.5)
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか (全国 90.4% **本校 96.1%** +5.7)
- ・1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか (全国 64.8% **本校 72.6%** +7.8)
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか (全国 82.2% **本校 96.1%** +13.9)
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか (全国 86.3% **本校 92.1%** +5.8)

### 【全国平均より10ポイント以上下回った設問】

- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか (全国 79.0% **本校 64.7%** -14.3)
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか (全国 84.9% **本校 74.5%** -10.4)